

令和元年度「第4回 貝原俊民美しい兵庫づくり賞」の受賞者

「第4回 貝原俊民美しい兵庫づくり賞」の受賞者とその功績は次のとおりです。

「第4回 貝原俊民美しい兵庫づくり賞」受賞者（2団体、1個人）

氏名／団体名	功 績 等
特定非営利法人つどい場さくらちゃん	<p>介護される人、介護する家族、介護職や医療職、行政、社協、教育関係者、学生、地域活動社、子どもたち、子育て中の親が共にお昼ご飯を食べながら立場を超えて交流し、悩みを話し、また情報交換できる場所。特に介護する家族は、介護の大変さの中、泣いたり、怒ったり、笑ったりと感情の吐露ができる「つどい場」を平成16年に開設。介護について学びあい、人の繋がりが生まれる場が「つどい場さくらちゃん」。</p> <p>介護される人や、その家族の外出を支援する「おでかけタイ」。介護者、介護職員、医療関係者、市民、県民に対する講習会、勉強会を行う「学びタイ」。介護者の留守中や施設入所の方への「見守りタイ」も行い、住民もボランティアとして参画する介護保険では対応できない隙間の支援を実施している。</p> <p>西宮市、西宮社協の推奨を受け、市内に「つどい場」が相次いで開設され、厚生労働白書やマスコミ等で取り上げられ、全国的にも波及した。</p> <p>また、クラウドファンディングなども利用し、財政面での充実をはかるなど、先導的な様々な活動を展開している。</p>
西脇TMO	<p>中心市街地活性化に向けた、人々が集まる”元気バンク”として平成15年に設立。</p> <p>人的ネットワークの形成と市民参画の促進、事業の立ち上げ、持続可能な事業実施のための取組の推進を基本的方向とし、活性化のため、人・モノ・金・情報を集めたまちづくり活動を展開している。</p> <p>「播州織産地博覧会」（播博）を開催し、播州織の情報発信に加え、空き店舗への出店が続くなど賑わいを創出。</p> <p>また、子育て支援・教育文化活動として、国登録有形文化財旧来住家住宅などを活用し地元ゆかりの芸術家の作品展、コンサート、「まちの寺子屋事業」などを実施。服飾専門学科のある市内高校、近隣大学生による「播州織ファッションショー」の開催や、主婦や学生などによるワンデイシェフを採用した「レストラン」の運営などを通じて多世代・地域交流を推進。</p> <p>地域外からも多くの人を呼び込み、交流や賑わいづくりを推進するなど、他市町の範となるTMOとして活発に活動している。</p>

氏名／団体名	功 績 等
<p>吉椿雅道 (NPO 法 CODE 海外災害援助市民センター事務局長)</p>	<p>昭和 43 年福岡県生まれ。</p> <p>平成 7 年、阪神・淡路大震災で足湯ボランティアを始める。</p> <p>11 年より 14 年までアジア約 20 か国を歴訪し、伝統医療、少数民族の伝統文化やNGOの現場を歩く。</p> <p>16 年より被災 NGO 協働センターやCODEのスタッフの中心として、インドネシア、パキスタン、中国、ハイチ、フィリピン、ネパールなどの被災地で支援活動に従事。</p> <p>20 年 5 月より約 4 年間、中国四川大地震の現場で活動。23 年東日本大震災被災地で、足湯ボランティアなどの活動を行う。同年CODE事務局次長を経て、25 年事務局長に就任。</p> <p>28 年 3 月、NHK「プロフェッショナル～仕事の流儀～」で被災地の活動状況を放映。</p> <p>これまでCODEの活動として世界 34 の国と地域の被災地で支援を行う。</p> <p>「支え合い学び合い最後のひとりまで」の理念のもと、住宅再建や雇用創出などの被災地にあった災害復興支援に貢献した。</p> <p>他方、県立大学や神戸学院大学で非常勤講師として、防災、復興に関する講義を行うとともに、CODE未来基金の立ち上げに尽力し、災害救援を目的とするNGOで働きたいと考える若者の活動を支援。若い人材を育てる教育活動にも取り組んでいる。</p>